

教科	科目	対象学年学科	単位数	教科書	使用教材
地歴	歴史総合	2学年 農業環境科・福祉科	2単位	歴史総合 (実教出版)	ダイアログ歴史総合 (第一学習社)

到達目標	<p>・社会的事象の歴史的な見方や考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>
------	--

評価の観点	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
	近代化による国際秩序の変化、その後のグローバル化の進展に関する複数の資料を多角的に読み取り、そこから得た情報を適切に取り扱うことができた。	複数の資料を比較したり、関連付けたりして、多面的・多角的に考察し、近代化を読み解く問いを表現できた。	中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組むことができた。

学習の評価	<p>①定期考査において、A 知識・技能、B 思考・判断・表現を主に評価する。</p> <p>②論述やレポートの作成、小テスト等で A 知識・技能、B 思考・判断・表現を、論述やレポートの作成、課題への取り組み方等で C 主体的に学習に取り組む態度を主に評価する。</p> <p>① ②の評価および出席状況を加味し、総合的に評価する。</p>
-------	---

単元	学習内容	到達目標
歴史の扉	1 歴史と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解できる。 ・身の回りの事象と世界の歴史が結び付きについて考察し、表現できる。
	2 歴史の特質と資料	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画や文書資料、統計データなどを事実と解釈とを区別して読み解くことの重要性や、歴史叙述の特性について理解できる。
第1編 近代化と私たち	・近代化への問い	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活や社会のあり方が近代化にともない変化したことについて考察するための問いを表現できる。
	1章 近代化への胎動	<ul style="list-style-type: none"> ・18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り理解できる。 ・中学校までの学習で得た知識を総合して、資料の地図データを読み解きながら、近代化以前の日本と、アジア、ヨーロッパの結びつきが考察できる。
	2章 欧米の市民革命の「西洋の衝撃」	<ul style="list-style-type: none"> ・市民革命により近代市民社会の基礎が築かれ、産業革命によって確立した資本主義による欧米社会の変化および国際分業体制の形成を理解できる。
	3章 欧米諸国と日本の国民国家形成	<ul style="list-style-type: none"> ・1848年を境とする国民国家の形成過程を理解したうえで、第2次産業革命を経た欧米諸国の帝国主義政策が、どのように世界を変えたのかを月窮する手がかりが考察できる。
	4章 帝国主義の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・「西洋の衝撃」に対して、日本を含めたアジア諸国がどのように対応したの

		<p>かに着目することで、欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について考察できる。</p> <p>・近代化と現代的な諸課題</p> <p>・明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、現代社会に与えた影響と課題について理解できる。</p>
2編 国際秩序の変化や大衆化とわたしたち	<p>・国際秩序の変化や大衆化への問い</p> <p>5章 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>6章 経済危機と第二次世界大戦</p> <p>・国際秩序の変化や大衆と現代的な諸課題</p>	<p>・人々の生活や社会のあり方が、国際秩序の変化や大衆化にともない変化したことについて考察できる。</p> <p>・国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会変化について考察できる。</p> <p>・均衡勢力に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追求できる。</p> <p>・第1次世界大戦後、国際協調のためのしくみが形成されたこと、総力戦により大衆が一層台頭するようになり、大衆社会が成立したこと、アメリカを中心に大衆文化が育まれて世界に影響を与えていったことについて理解できる。</p> <p>・ファシズム体制の形成から第2次世界大戦の終戦に至るまで、大衆とメディアとの関わりに着目しながら、大衆の戦争協力が現代社会に与えた影響と課題について考察できる。</p> <p>・新しい国際秩序である国際連合と現実のアジア・ヨーロッパの冷戦構造のなかから戦後日本の政治の大衆化について理解できる。</p>
3編 グローバル化と私たち	<p>・グローバル化への問い</p> <p>7章 冷戦と脱植民地化</p> <p>8章 多極化する世界</p> <p>9章 グローバル化と現代世界</p>	<p>・人々の生活や社会のあり方がグローバル化にともない変化したことについて考察できる。</p> <p>・冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、現代社会に与えた影響と課題について理解できる。</p> <p>・冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について、資料を読み取り理解できる。</p> <p>・冷戦の終結とグローバル化の進展が、世界情勢にどのような影響を与えたのか、さらに私たちの生活がどのように変わったかについて考察できる。</p>